

平成 16 年 6 月 14 日

## 株 主 各 位

静岡県焼津市小川新町 5 丁目 8 番 13 号

## 焼津水産化学工業株式会社

取締役社長 坂 井 和 男

### 第45期定時株主総会招集ご通知

拝啓 ますますご清栄のことと拝察申しあげます。

さて、当社第45期定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、お手数ながら後記参考書類をご検討くださいます。同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、ご押印のうえ、折り返しご送付くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

#### 記

1. 日 時 平成16年 6 月29日（火曜日）午前10時
2. 場 所 静岡県焼津市三ヶ名1550番地  
焼津市文化センター 1 階 小ホール
3. 会議の目的事項  
報 告 事 項 第45期（自平成15年 4 月 1 日 至平成16年 3 月31日）営業報告書、貸借対照表および損益計算書報告の件  
決 議 事 項  
第 1 号議案 第45期利益処分案承認の件  
第 2 号議案 定款一部変更の件  
議案の要領は、後記の「議決権の行使についての参考書類」（17頁から18頁まで）に記載のとおりであります。  
第 3 号議案 監査役 4 名選任の件  
第 4 号議案 退任監査役に対し退職慰労金贈呈の件

以 上

~~~~~  
当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

(添付書類)

## 第45期 営業報告書

(自 平成15年4月1日)  
(至 平成16年3月31日)

### 1. 営業の概況

#### (1) 営業の経過および成果

当期のわが国経済は、好調なアジア向け輸出や設備投資の増加に支えられ、また株価上昇による心理的な押し上げ効果も加わったことで、業種間の格差はあるものの景気回復の動きが着実となってきました。しかしながら、個人消費につきましては、雇用回復の遅れや年金問題等将来不安もあり、依然として一進一退の状況にありました。

食品業界におきましては、BSE牛や鳥インフルエンザの発生による影響として、食品のトレーサビリティ（生産現場までの履歴をさかのぼる仕組み）を強化し、その安全性や品質、表示の信頼確保を徹底するよう求められました。また、消費者の知識が豊かになり、食品の機能を重視する健康志向の動きも益々高まってまいりました。

このような動きのなか、当社は品質管理の更なる徹底を図るため、原材料や製品のデータベース化を確立いたしました。調味料部門・機能食品部門では、一般食品や飲料へ付与する機能性食品素材の効率的な大量生産方式を構築し、用途開発に注力するとともに、前期からの経営課題であった医療栄養食やコラーゲン等の採算改善にも努力してまいりました。また、中国市場の動向調査にも取り組んでまいりました。

期中のセグメント別業績の状況をご報告しますと、「調味料事業」は、納入先の製品リニューアルや内製化が進んだため、上半期に一部の大口製品が影響を受け、これに冷夏の影響等が重なって、液体調味料を中心に前年同期比8.8%減と大幅な売上減少を余儀なくされました。下半期は、アメリカでのBSE牛の確認や、鳥インフルエンザ問題など、消費回復を阻害するような状況が発生しましたが、直近の第4四半期の売上高は前年同期比2.5%減まで回復するなど、営業努力の成果も現れて状況はやや好転しました。しかし結果的には、売上高は97億84百万円（前期比7.0%減）にとどまりました。

「機能食品事業」は本格生産 2 期目を迎えたコラーゲン類が前期比65%増、グルコサミン類も牛乳飲料向け新製品の開発が寄与し同39%増、加えて医療栄養食も製造受託先の拡充により同79%増加したことで、当事業の売上高は36億13百万円（前期比38.2%増）、総売上高に占める比率も24.6%に拡大しました。

「その他事業」は、受託加工品やわさび・生姜等の香辛料が横ばいながら底堅い売上を維持するなかで、大根おろしパック等の新商品が好調だったため、売上高は12億64百万円（前期比8.0%増）となりました。

以上の結果、当期の売上高は146億62百万円（前期比2.5%増）となりました。

利益につきましては、機能食品部門の育成投資経費が製造量拡大に伴う生産性向上や減価償却費の減少により縮小したこと、デフレの進行による収益面への影響が一段落したこと、販売費および一般管理費もほぼ前期並に抑えられたこと等により、営業利益が12億52百万円（前期比5.7%増）、経常利益は13億34百万円（前期比2.6%増）、当期純利益は、7億97百万円（前期比32.4%増）と、いずれも前期比増になりました。

## (2) 設備投資および資金調達の状況

当期の設備投資の総額は4億34百万円であり、その主な内容は大東第三工場設備増強工事95百万円、榛原第一工場改修工事70百万円で、これ以外は機械装置の更新ならびに環境改善に係わる投資であります。これに要した資金は、すべて自己資金を充当いたしました。

## (3) 会社が対処すべき課題

今後の経済見通しにつきましては、個人消費が依然として楽観を許さない状況が続くものと予想されます。当社といたしましては、デフレの影響を受けて暫く低迷が続いている調味料部門の活性化に注力いたします。また、機能性食品素材につきましては、前期に大きな成果を挙げた一般食品・飲料向け用途開発を強化するとともに、数年前から食品フェア出展等により鋭意努力してきた海外販売の具現化にも挑戦してゆく所存であります。

#### (4) 営業成績および財産の状況の推移

| 区 分            | 第42期<br>平成12年度 | 第43期<br>平成13年度 | 第44期<br>平成14年度 | 第45期<br>平成15年度 |
|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 売 上 高(百万円)     | 14,020         | 14,300         | 14,311         | 14,662         |
| 経 常 利 益(百万円)   | 1,978          | 1,568          | 1,300          | 1,334          |
| 当 期 純 利 益(百万円) | 1,058          | 685            | 602            | 797            |
| 1株当たり当期純利益     | 76円32銭         | 48円80銭         | 41円01銭         | 54円89銭         |
| 総 資 産(百万円)     | 17,549         | 17,478         | 17,794         | 18,713         |
| 純 資 産(百万円)     | 14,015         | 14,365         | 14,697         | 15,544         |
| 1株当たり純資産       | 997円13銭        | 1,022円00銭      | 1,045円73銭      | 1,105円99銭      |

(注) 1株当たりの当期純利益は、期中の平均発行済株式総数に基づき算出しております。

なお、1株当たり当期純利益および1株当たり純資産については、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号)および「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号)が平成14年4月1日以降開始する事業年度から適用されることになったことに伴い、第44期から同会計基準および適用指針によっております。

## 2. 会社の概況（平成16年3月31日現在）

### (1) 主要な事業内容

当社は、次の製品の製造販売ならびに関連商品の販売を行っております。

| 区 分     | 内 容                                                                                                                                                | 主な使用用途                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|---------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 調 味 料   | エ キ ス 、 ス ー プ<br><br>シ ー ズ ニ ン グ オ イ ル<br><br>各 種 粉 末<br>( 乾 燥 粉 末 調 味 料 )<br>風 味 調 味 料<br><br>各 種 パ ウ ダ ー<br>( エ キ ス パ ウ ダ ー )<br><br>乾 燥 調 味 食 品 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種スープ類（ラーメン、うどん、そば用つゆ、だしの素他）</li> <li>・ハム、ソーセージ、練製品</li> <li>・冷凍食品の味付、食品のかくし味</li> <li>・培地</li> <li>・ラーメンスープの別添オイル、中華食材</li> <li>・スナック食品</li> <li>・和風スープ、即席味噌汁、スナック食品他</li> <li>・各種スープ類、ハム、ソーセージ類（マスキング剤、スパイスシーズニング他）</li> <li>・調理冷凍食品類</li> <li>・スナック菓子類（コーン、米菓）</li> <li>・各種粉末スープ類（ラーメン、うどん、そば用つゆ、だしの素他）</li> <li>・シーズニング原料、果汁パウダー類</li> <li>・食品のかくし味、スナック食品、トッピング剤、粉末醤油</li> <li>・ふりかけ、お茶漬用具材</li> <li>・インスタントラーメン用具材</li> </ul> |
| 機 能 食 品 | 機 能 性 素 材 製 品                                                                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能栄養食品素材（キチン、キトサン、各種オリゴ糖類、グルコサミン、アンセリン、コラーゲンペプチド、モズクフコイダン、カルシウム、他）</li> <li>・研究用試薬類、食品添加物、飼料添加剤、診断薬、医療品素材</li> <li>・医療栄養食</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| そ の 他   | 各 種 香 辛 料<br>各 種 個 包 装 品                                                                                                                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・わさび、にんにく、辛子、生姜他</li> <li>・トロロ、小袋詰スープ類</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

## (2) 事業所

| 名 称           | 所 在 地                              |
|---------------|------------------------------------|
| 本 社           | 静岡県焼津市小川新町5丁目8番13号                 |
| 榛 原 工 場       | 静岡県榛原郡榛原町静谷308番地の1                 |
| 焼 津 ・ 団 地 工 場 | 静岡県焼津市惣右衛門1195番地の4（水産加工団地）         |
| 大 東 工 場       | 静岡県小笠郡大東町国安3000番地の1                |
| 東 京 営 業 所     | 東京都中央区八重洲2丁目7番2号（八重洲三井ビル5F）        |
| 大 阪 営 業 所     | 大阪府大阪市淀川区西中島5丁目13番9号（新大阪MTビル1号館9F） |
| 名 古 屋 営 業 所   | 愛知県名古屋市千種区今池4丁目1番29号（ニッセイ今池ビル4F）   |
| 福 岡 営 業 所     | 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目18番30号（八重洲博多ビル5F）  |

## (3) 会社の状況

|              |             |
|--------------|-------------|
| 会社が発行する株式の総数 | 24,600,000株 |
| 発行済株式の総数     | 14,056,198株 |
| 株 主 数        | 7,946名      |

## 大 株 主（上位10名）

| 株 主 名                    | 当 社 へ の 出 資 状 況 |           | 当 社 の 当 該 株 主 へ の 出 資 状 況 |           |
|--------------------------|-----------------|-----------|---------------------------|-----------|
|                          | 持 株 数           | 議 決 権 比 率 | 持 株 数                     | 議 決 権 比 率 |
| 宝ホールディングス株式会社            | 956千株           | 6.8%      | 308千株                     | 0.1%      |
| 日本油脂株式会社                 | 902             | 6.4       | 745                       | 0.4       |
| 株式会社静岡銀行                 | 678             | 4.8       | 203                       | 0.0       |
| 鈴 木 ミ ツ エ                | 551             | 3.9       | -                         | -         |
| 株式会社りそな銀行                | 478             | 3.4       | -                         | -         |
| 日本マスタートラスト<br>信託銀行株式会社   | 402             | 2.9       | -                         | -         |
| 日本トラスティ・サービス<br>信託銀行株式会社 | 392             | 2.8       | -                         | -         |
| 松 本 圭 一 郎                | 322             | 2.3       | -                         | -         |
| 焼 津 信 用 金 庫              | 321             | 2.3       | -                         | -         |
| 明王物産株式会社                 | 232             | 1.6       | -                         | -         |

（注） 上記信託銀行の持株数には、信託業務に係る株式が次のとおり含まれております。

|                      |       |
|----------------------|-------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社   | 402千株 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 392千株 |

### （4）自己株式の取得、処分等および保有

#### 取得株式

|         |       |
|---------|-------|
| 普通株式    | 404株  |
| 取得価額の総額 | 354千円 |

#### 処分株式

自己株式の処分はありません。なお、単位未満株主からの売渡し請求に応じ、保有株式のうち50株（売却価格43千円）が減少しております。

#### 決算期における保有株式

|      |        |
|------|--------|
| 普通株式 | 1,716株 |
|------|--------|

#### (5) 主な借入先

| 借入先       | 借入金残高  | 借入先が有する当社の株式数<br>および議決権比率 |      |
|-----------|--------|---------------------------|------|
| 株式会社静岡銀行  | 120百万円 | 678千株                     | 4.8% |
| 株式会社りそな銀行 | 120    | 478                       | 3.4  |

#### (6) 従業員の状況

| 区分      | 従業員数 | 前期末比増減 | 平均年齢   | 平均勤続年数 |
|---------|------|--------|--------|--------|
| 男性      | 169人 | +1人    | 37.55歳 | 12.72年 |
| 女性      | 31   | -5     | 29.28  | 7.21   |
| 合計または平均 | 200  | -4     | 36.27  | 11.86  |

(注) 1. 上記には出向者を含み、出向受入者を除いてあります。

2. 臨時従業員の平均雇用人員は、前期で14名、当期で20名であり、上記従業員数には含まれておりません。

#### (7) 重要な企業結合の状況

##### 重要な子会社の状況

| 会社名        | 資本金   | 当社の議決権比率 | 主要な事業内容 |
|------------|-------|----------|---------|
| オーケー食品株式会社 | 30百万円 | 100%     | 香辛料の製造  |

##### 企業結合の成果

当期の連結売上高は147億14百万円、連結経常利益は13億45百万円、連結当期純利益は8億1百万円となりました。



## (8) 取締役および監査役

| 会社における地位   | 氏 名     | 担当または主な職業           |
|------------|---------|---------------------|
| 代表取締役会長    | 松 本 圭一郎 |                     |
| 代表取締役社長    | 坂 井 和 男 | 生産・開発本部長兼研究開発部長     |
| 代表取締役専務取締役 | 高 橋 誠 一 | 営業本部長兼食品営業部長        |
| 常 務 取 締 役  | 伊 藤 裕 通 | 統括本部長兼総合企画室長兼購買部長   |
| 取 締 役      | 丹 治 宏 一 | 経理部長                |
| 取 締 役      | 酒 井 尚 吾 | 製造部長兼オーケー食品㈱代表取締役社長 |
| 取 締 役      | 伊 藤 正 次 | 生産企画部長              |
| 取 締 役      | 高 橋 英 之 | 新素材営業部長             |
| 常 勤 監 査 役  | 矢 田 宗 介 |                     |
| 常 勤 監 査 役  | 池 谷 房 司 |                     |
| 監 査 役      | 加 藤 啓 介 |                     |
| 監 査 役      | 石 黒 厚 士 |                     |

(注) 1. 当期中の退任取締役は次のとおりであります。

代表取締役社長 茅 野 純 平成15年6月26日退任

2. 監査役矢田宗介氏、池谷房司氏および加藤啓介氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

## 3. 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

該当事項はありません。

(注) 本営業報告書中の金額は、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

# 貸借対照表

(平成16年3月31日現在)

(単位：千円)

| 科 目         | 金 額        | 科 目           | 金 額        |
|-------------|------------|---------------|------------|
| (資産の部)      |            | (負債の部)        |            |
| 流動資産        | 8,770,029  | 流動負債          | 2,321,227  |
| 現金及び預金      | 2,916,609  | 支払手形          | 82,113     |
| 受取手形        | 569,497    | 買掛金           | 1,496,760  |
| 売掛金         | 3,138,605  | 一年以内返済予定長期借入金 | 120,000    |
| 有価証券        | 45,738     | 未払金           | 175,435    |
| 商 品         | 122,203    | 未払法人税等        | 201,032    |
| 製 品         | 795,314    | 未払消費税等        | 54,473     |
| 原 材 料       | 855,733    | 未払費用          | 62,232     |
| 貯 蔵 品       | 23,551     | 賞与引当金         | 89,000     |
| 短期貸付金       | 160,000    | その他の流動負債      | 40,178     |
| 繰延税金資産      | 66,016     | 固定負債          | 848,520    |
| その他の流動資産    | 76,757     | 長期借入金         | 120,000    |
| 固定資産        | 9,943,807  | 退職給付引当金       | 218,777    |
| 有形固定資産      | 6,212,826  | 役員退職慰労引当金     | 495,254    |
| 建 物         | 1,984,483  | 預り保証金         | 14,488     |
| 構 築 物       | 255,661    | 負債合計          | 3,169,747  |
| 機 械 及 び 装 置 | 1,418,541  | (資本の部)        |            |
| 車 両 運 搬 具   | 5,268      | 資 本 金         | 3,617,642  |
| 工具器具及び備品    | 93,344     | 資本剰余金         | 3,414,133  |
| 土 地         | 2,439,697  | 資本準備金         | 3,414,133  |
| 建設仮勘定       | 15,829     | 利益剰余金         | 8,351,420  |
| 無形固定資産      | 84,482     | 利益準備金         | 348,182    |
| 工業所有権       | 3,981      | 任意積立金         | 7,036,545  |
| 電話加入権       | 5,631      | 固定資産買換積立金     | 36,545     |
| 水道施設利用権     | 230        | 別途積立金         | 7,000,000  |
| ソフトウェア      | 74,638     | 当期末処分利益       | 966,692    |
| 投資その他の資産    | 3,646,498  | 株式等評価差額金      | 162,730    |
| 投資有価証券      | 3,023,059  | 自己株式          | 1,838      |
| 子会社株式       | 120,000    | 資本合計          | 15,544,088 |
| 出 資         | 33,858     | 負債及び資本合計      | 18,713,836 |
| 長期前払費用      | 19,871     |               |            |
| 繰延税金資産      | 210,054    |               |            |
| その他の投資等     | 242,376    |               |            |
| 貸倒引当金       | 2,721      |               |            |
| 資 産 合 計     | 18,713,836 |               |            |

# 損益計算書

(自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)

(単位：千円)

| 科 目              |         | 金                    | 額                              |
|------------------|---------|----------------------|--------------------------------|
| 経<br>常           | 営業損益の部  | 営業収益                 |                                |
|                  |         | 売上高                  | 14,662,318                     |
|                  |         | 営業費用                 |                                |
|                  |         | 売上原価<br>販売費及び一般管理費   | 11,628,020<br>1,782,111        |
|                  | 営業利益    |                      | 13,410,132<br>1,252,185        |
| 損<br>益<br>の<br>部 | 営業外損益の部 | 営業外収益                |                                |
|                  |         | 受取利息及び受取配当金          | 69,697                         |
|                  |         | 受入賃貸料                | 42,914                         |
|                  |         | その他の                 | 58,691                         |
|                  |         | 営業外費用                |                                |
|                  |         | 支払利息                 | 5,092                          |
|                  |         | たな卸資産廃棄損<br>損害賠償金    | 56,414<br>18,468               |
|                  |         | その他の                 | 9,317                          |
|                  | 経常利益    |                      | 171,303<br>89,292<br>1,334,196 |
| 特別損益の部           | 特別利益の部  | 特別利益                 |                                |
|                  |         | 固定資産売却益              | 14                             |
|                  |         | 投資有価証券売却益            | 17,533                         |
|                  |         | 特別損失                 |                                |
|                  |         | 固定資産除却損<br>投資有価証券売却損 | 15,192<br>336                  |
|                  |         | 役員退職金                | 935                            |
|                  | 特別利益    |                      | 16,464<br>17,547               |
|                  |         | 税引前当期純利益             | 1,335,280                      |
|                  |         | 法人税、住民税及び事業税         | 490,633                        |
|                  |         | 法人税等調整額              | 47,176                         |
|                  |         | 当期純利益                | 797,469                        |
|                  |         | 前期繰越利益               | 267,618                        |
|                  |         | 自己株式処分差損             | 12                             |
|                  |         | 中間配当金                | 98,383                         |
| 当期末処分利益          | 966,692 |                      |                                |

## 注記事項

### (1) 重要な会計方針

#### 1. 有価証券の評価基準および評価方法

子会社株式

移動平均法による原価法によっております。

その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法によっております。(評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの

移動平均法による原価法によっております。

#### 2. たな卸資産の評価基準および評価方法

総平均法による原価法によっております。

#### 3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定率法を採用しております。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については、定額法を採用しております。

なお、焼津工場の建物、機械および装置については定額法を採用しております。

無形固定資産 定額法を採用しております。

なお、ソフトウェア(自社利用)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しております。

#### 4. 引当金の計上基準

貸倒引当金 一般債権については、貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

賞与引当金 期末在籍従業員に対して支給対象期間に基づく賞与支給見込額の当期負担額を計上しております。

退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務および年金資産の額に基づき計上しております。

役員退職慰労引当金 役員の退職により支給する退職慰労金に充てるため、内規に基づく要支給額を引当計上しております。商法施行規則第43条に規定する引当金であります。

#### 5. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜き方式によっております。

### (2) 貸借対照表関係

#### 1. 子会社に対する短期金銭債権

160,671千円

短期金銭債務

36,153千円

#### 2. 有形固定資産の減価償却累計額

6,471,636千円

#### 3. 有形固定資産の圧縮記帳累計額

38,896千円

#### 4. 重要なリース資産

製造用設備の一部、コンピュータシステム等事務用機器の一部、その他営業用設備の一部についてリース契約により使用しております。

#### 5. 商法施行規則第124条第3号に規定する純資産額は162,730千円であります。

(3) 損益計算書関係

1. 子会社との取引高

営業取引

売上高

16,659千円

仕入高

464,077千円

販売管理費

2,256千円

営業取引以外の取引（営業外収益）

1,800千円

2. 1株当たり当期純利益

54円89銭

## 利益処分案

(単位：円)

| 摘 要                               | 金                         | 額           |
|-----------------------------------|---------------------------|-------------|
| 当 期 未 処 分 利 益                     |                           | 966,692,507 |
| 固 定 資 産 買 換 積 立 金 取 崩 額           |                           | 2,415,511   |
| 計                                 |                           | 969,108,018 |
| これを次のとおり処分いたします。                  |                           |             |
| 利 益 配 当 金<br>(1株につき普通配当8円、記念配当2円) | 140,544,820               |             |
| 役 員 賞 与 金<br>(うち監査役賞与金)           | 26,000,000<br>(3,200,000) |             |
| 別 途 積 立 金                         | 500,000,000               | 666,544,820 |
| 次 期 繰 越 利 益                       |                           | 302,563,198 |

- (注) 1. 平成15年12月4日98,383,054円(1株につき7円)の中間配当を実施いたしました。
2. 利益配当金は、自己株式を除いて計算しております。

独立監査人の監査報告書

平成16年5月14日

焼津水産化学工業株式会社

取締役会 御中

芙蓉監査法人

代表社員 公認会計士 中 村 佳 弘 ㊞  
関与社員

代表社員 公認会計士 岩 崎 安 良 ㊞  
関与社員

当監査法人は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第2条第1項の規定に基づき、焼津水産化学工業株式会社の平成15年4月1日から平成16年3月31日までの第45期営業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、営業報告書（会計に関する部分に限る。）及び利益処分案並びに附属明細書（会計に関する部分に限る。）について監査を行った。なお、営業報告書及び附属明細書について監査の対象とした会計に関する部分は、営業報告書及び附属明細書に記載されている事項のうち会計帳簿の記録に基づく記載部分である。この計算書類及び附属明細書の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から計算書類及び附属明細書に対する意見を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及び附属明細書に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得ることを求めている。監査は、試査を基礎として行われ、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価を含め全体としての計算書類及び附属明細書の表示を検討することを含んでいる。当監査法人は、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断している。なお、この監査は、当監査法人が必要と認めて実施した子会社に対する監査手続を含んでいる。

監査の結果、当監査法人の意見は次のとおりである。

- (1) 貸借対照表及び損益計算書は、法令及び定款に従い会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
- (2) 営業報告書（会計に関する部分に限る。）は、法令及び定款に従い会社の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 利益処分案は、法令及び定款に適合しているものと認める。
- (4) 附属明細書（会計に関する部分に限る。）について、商法の規定により指摘すべき事項はない。

会社と当監査法人又は関与社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

## 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成15年4月1日から平成16年3月31日までの第45期営業年度の取締役の職務の執行に関して各監査役から監査の方法及びその結果の報告を受け、協議の上、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査役の監査の方法の概要

各監査役は、監査役会が定めた監査の方針、業務の分担等に従い、取締役会その他重要な会議に出席するほか、取締役等から営業の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査するとともに子会社（オーケー食品株式会社）についても、業務及び財産の状況を実地調査いたしました。また、会計監査人から報告及び説明を受け、計算書類及び附属明細書につき検討を加えました。

取締役の競業取引、取締役と会社間の利益相反取引、会社が行った無償の利益供与、子会社又は株主との通例的でない取引並びに自己株式の取得及び処分等に関しては、上記の監査の方法のほか、必要に応じて取締役等から報告を求め、当該取引の状況を詳細に調査いたしました。

### 2. 監査の結果

- (1) 会計監査人芙蓉監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- (2) 営業報告書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 利益処分に関する議案は、会社財産の状況その他の事情に照らし指摘すべき事項は認められません。
- (4) 附属明細書は、記載すべき事項を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (5) 取締役の職務遂行に関しては、子会社に関する職務を含め、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。

なお取締役の競業取引、取締役と会社間の利益相反取引、会社が行った無償の利益供与、子会社又は株主との通例的でない取引並びに自己株式の取得及び処分等についても取締役の業務違反は認められません。

平成16年5月14日

焼津水産化学工業株式会社 監査役会

監査役(常勤) 矢田 宗 介 ㊟

監査役(常勤) 池谷 房 司 ㊟

監 査 役 加藤 啓 介 ㊟

監 査 役 石黒 厚 士 ㊟

(注) 監査役矢田宗介・監査役池谷房司及び監査役加藤啓介は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役ではありません。

以 上



## 議決権の行使についての参考書類

1．議決権を有する株主が有する株式の総数 140,267個

### 2．議案および参考事項

#### 第1号議案 第45期利益処分案承認の件

議案の内容につきましては、前記添付書類14頁に記載のとおりであります。

利益配当金につきましては、企業体質の強化のための内部留保にも意を用いつつ、安定した配当を継続してゆくことを基本としております。

当期末の利益配当金につきましては、この基本方針に基づき当期の業績及び配当性向等を総合的に勘案し、1株につき普通配当8円に、創立45周年記念配当2円を加え、計10円とさせていただきたいと存じます。

なお、中間配当として1株につき7円をお支払いいたしておりますので、年間配当金は1株につき17円となります。

#### 第2号議案 定款一部変更の件

##### (議案の要領)

現行定款の一部を次の理由により、以下のとおり改めたいと存じます。

##### 1．変更の理由

変更の理由は、次のとおりであります。

「商法及び株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律の一部を改正する法律」(平成15年法律第132号)により、定款の定めに基づいて取締役会決議による自己株式の取得が認められたことから、機動的な資本政策を遂行できるよう定款第6条に自己株式の取得の規定を新設し、定款第6条以下を各1条ずつ繰り下げるものであります。

また、「商法及び株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律の一部を改正する法律」(平成13年法律第149号)により、監査役の任期が4年に伸長されておりますので、現行定款第26条第1項を併せて変更するものであります。

## 2. 変更の内容

変更の内容は、次のとおりであります。

(下線部は変更部分であります。)

| 現 行 定 款                                                                                                                                                                  | 変 更 案                                                                                                                                                                                                                                                 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>(新設)</p> <p>第6条～第25条 (条文省略)</p> <p>(任期)</p> <p>第26条 監査役の任期は就任後3年内の最終決算期に関する定時株主総会の終結の時までとする。<br/>補欠として選任された監査役の任期は、退任した監査役の任期満了すべき時までとする。</p> <p>第27条～第35条 (条文省略)</p> | <p>(自己株式の取得)</p> <p><u>第6条</u> 当社は、<u>商法第211条ノ3第1項第2号の規定により、取締役会の決議をもって自己株式を買受けることができる。</u></p> <p>第7条～<u>第26条</u> (現行どおり)</p> <p>(任期)</p> <p>第27条 監査役の任期は就任後<u>4</u>年内の最終決算期に関する定時株主総会の終結の時までとする。<br/>同 左</p> <p>第<u>28</u>条～<u>第36</u>条 (現行どおり)</p> |

### 第3号議案 監査役4名選任の件

監査役全員（4名）は、本總會終結の時をもって任期満了となりますので、監査役4名の選任をお願いいたしたいと存じます。なお、本議案の提出につきましては、あらかじめ監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は、次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)            | 略歴および他の会社の代表状況                                                                                                                                                                                                                                                                 | 所有する当社株式の数 |
|-------|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 1     | 加藤 啓介<br>(昭和18年12月21日生) | 昭和42年3月 東北大学農学部卒業<br>昭和42年4月 函館公海漁業株式会社入社<br>昭和48年6月 住友重機械エンパイロテック株式会社入社<br>昭和55年12月 クニミネ工業株式会社入社<br>開発事業部長<br>平成元年1月 同社退職<br>平成元年8月 有限会社シオメテクノプラン設立 代表取締役社長に就任(現任)<br>平成10年6月 当社監査役に就任(現任)                                                                                    | 550株       |
| 2     | 石黒 厚士<br>(昭和6年3月7日生)    | 昭和30年3月 早稲田大学第一法学部卒業<br>昭和30年4月 静岡銀行入行<br>昭和53年6月 同行 名古屋支店長<br>昭和56年12月 同行 融資第一部長<br>昭和59年6月 静岡キャピタル株式会社に<br>出向<br>昭和62年5月 当社入社<br>昭和62年6月 取締役総務部・経理部統括<br>担当<br>平成7年6月 代表取締役専務取締役<br>平成9年6月 代表取締役専務取締役退<br>任、相談役<br>平成9年10月 明王物産株式会社代表取締<br>役社長に就任(現任)<br>平成13年6月 当社監査役就任(現任) | 8,705株     |

| 候補者番号 | 氏名<br>(生年月日)          | 略歴および他の会社の代表状況                                                                                                                                                                                                                                     | 所有する当社株式の数 |
|-------|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 3     | 山本和広<br>(昭和24年4月11日生) | 昭和48年3月 早稲田大学政治経済学部卒業<br>昭和48年4月 静岡銀行入行<br>平成9年6月 同行 営業企画部長<br>平成11年6月 同行 呉服町支店長<br>平成13年6月 同行 執行役員 本店営業部長<br>平成15年6月 同行 退職<br>平成15年6月 静銀ディーシーカード(株)代表取締役社長<br>平成16年6月 同社 代表取締役退任                                                                  | - 株        |
| 4     | 田中浩<br>(昭和18年12月3日生)  | 昭和37年3月 静岡市立商業高等学校卒業<br>昭和37年4月 焼津信用金庫入庫<br>平成5年4月 同庫 草薙支店長<br>平成7年4月 同庫 静岡南支店長<br>平成9年4月 同庫 本店営業部長<br>平成12年4月 同庫 執行役員<br>平成12年6月 まるせいビジネスサービス(株)出向、同庫執行役員・同社取締役兼務<br>平成13年10月 まるせいリース(株)出向、同庫執行役員・同社取締役兼務<br>平成16年3月 同庫 執行役員退任、退職、まるせいリース(株)取締役退任 | - 株        |

- (注) 1. 各監査役候補者と当社との間には、特別の利害関係はありません。  
2. 加藤啓介氏、山本和広氏並びに田中 浩氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役の候補者であります。

#### 第4号議案 退任監査役に対し退職慰労金贈呈の件

本総会終結の時をもって任期満了により監査役を退任する矢田宗介氏ならびに池谷房司氏の2名に対し、在任中の功労に報いるため、当社所定の基準に従い相当額の範囲内で退職慰労金を贈呈いたしたいと存じます。

その具体的金額、贈呈の時期および方法等は、監査役の協議にご一任願いたいと存じます。

退任監査役の略歴は次のとおりであります。

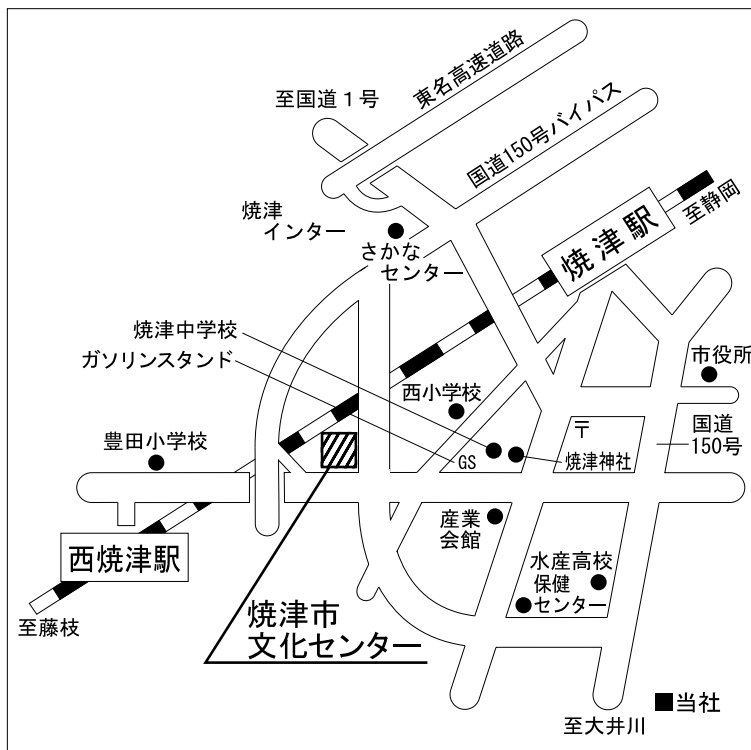
| 氏 名     | 略 歴                  |
|---------|----------------------|
| 矢 田 宗 介 | 平成9年6月 常勤監査役 現在に至る。  |
| 池 谷 房 司 | 平成13年6月 常勤監査役 現在に至る。 |

以 上

メ 毛 欄

## 第45期定時株主総会会場ご案内図

会場 静岡県焼津市三ヶ名1550番地  
焼津市文化センター 1階小ホール  
電話 054(627)3111



交通 JR東海焼津駅南口より1.5km、徒歩20分  
JR東海西焼津駅北口より2km、徒歩25分  
東名高速道路焼津インターより3km